



04

ボランティア活動補助金

## 18歳で就職自立を目指す 若者への就労支援

特定非営利活動法人フェアスタートサポート

### Profile

事業分野：職業能力の  
開発又は雇用機会  
の拡充の支援

事業期間：2015～  
2017年度

補助金額：5,543千円  
(3年間)

### 活動

さまざまな選択肢から自分に  
合った仕事を見つけられるように

家庭の事情により18歳で就職自立をする若者たちが公平なスタートラインから社会へ巣立ち、自分らしく生き活きと働ける社会を目指して4つの活動を行いました。

1つ目は、個別就労支援事業。就職のミスマッチを防ぐために適性検査を含む就職相談や会社見学・就労体験のコーディネートを行いました。2つ目は、キャリア講座の開催。パソコンの基本操作を学び、社会に出たときに必要となることが多いワードやエクセルなどに慣れることを目的としたパソコン教室を県内の児童養護施

設で月2回開催。そしてプログラミングを気軽に楽しく学べるプログラミング体験教室も実施しました。3つ目は、児童養護施設の高校生と企業の交流会。様々な企業や業種と出会い、高校生が自分に合った仕事について考えられるように企業と交流できる場として実施しました。4つ目は、定時制高校でのキャリア教育授業。様々な企業の社長や若手社員を呼び、働く事の意義や仕事の選び方などについての授業を行いました。

## 成果

### 施設・家庭・定時制高校へ 広く活動が普及

施設や里親家庭・定時制高校からの依頼も継続的に増え、3年間を通して就職相談・適性検査を205名、会社見学を158名、就労体験を51名に提供することができました。また、当団体の関係企業へ新卒就職した神奈川県内の施設出身者では「1年以内離職率0%」を2年連続で達成しました。（東京都の調査による施設出身者の1年以内離職率は約50%）高校生と企業の交流会は、3回の開催で計10名が参加しました。イベントがきっかけでもっと色々な企業を見たいという依頼を頂き、その後就職に至ったケースもありました。

定時制高校のキャリア授業では、2017年度に5つの高校で計10回の授業を実施。生徒か

らは具体的な仕事や企業について知る貴重な機会になった、と感想があがりました。

様々なキャリア教育の活動を通じ、書類上の条件だけで選ぶのではなく、事前にしっかりと見学や体験を通じて自分の適性や相性を見極めて就職する「マッチング就職」を県内の児童養護施設、定時制高校へと普及することができました。



▲パソコン教室の様子

▶厚木清南高校での  
キャリア授業



代表理事  
永岡 鉄平 さん

若者一人一人が高い安心感、満足感、自己決定感とともに社会参画できること、これは日本社会を生きる私達大人の責務だと考えます。しかしながら、家庭環境等に恵まれず18歳という若さで親を頼れずに自立就職する若者達に、十分な機会や縁をまだまだ日本社会は提供できていません。この課題解決に向けたチャレンジを3年間実践させていただきました。おかげさまで、この事業を通じて、そうした若者達に貢献できる土壌が社会には確実にあること、そこと若者達とをつなぐコーディネーターが機能すれば、両者がつながり共に育ちあえることがわかってきました。この3年間の実績を基礎とし、今後はそのやり方を「仕組み」として神奈川県全域に広めていけるよう努めてまいります。

NPO  
法人

特定非営利活動法人  
フェアスタートサポート

代表者 代表理事 永岡 鉄平

設立 平成25年1月

住所 〒231-0003 横浜市中区北仲通3-33 関内フューチャーセンター214

活動紹介 家庭の事情により18歳で就職自立を目指す若者を対象に就労支援をしています。会社見学や就労体験などのキャリア教育や就職後のアフターフォローを行っています。



05

ボランティア活動補助金

## アルクヒューマンサポート センター・アルク相談事業

特定非営利活動法人市民の会寿アルク

### Profile

事業分野：保健、医療又は福祉の増進  
事業期間：2015～2017年度  
補助金額：5,452千円  
(3年間)

### 活動

## 依存症その他人間関係の問題に 寄り添い支援するために

1993年からの寿アルクの活動の実践を基に、2011年にアルクヒューマンサポートセンターを開設しました。アルコール問題はもとより、その周辺にある家族や、地域で起こる人間関係などの問題を含んだ、より広汎で予備、予防的な相談内容に対応します。相談活動を通して人々が生きる力を取り戻し、社会とのつながりを持ちながら、少しでも質の良い穏やかな日常生活が送れるように支援することを目的として事業を行っています。

電話相談、面接相談では、悩みを語ってもらい、問題の整理を手伝う中で、一瞬でもほっとしてもらい、相談者が本来持っている力を取り戻すための支援をしています。サロンでは、さまざまな方たちの経験の分かち合いができる場を提供してきました。

啓発事業として、依存症およびその周辺の問題について広く一般の方に知っていただき、共に学び、分かち合う機会として「依存症セミナー」を開催しています。

## 成果

### 人材面、財政面での強化 に取り組んだ3年間

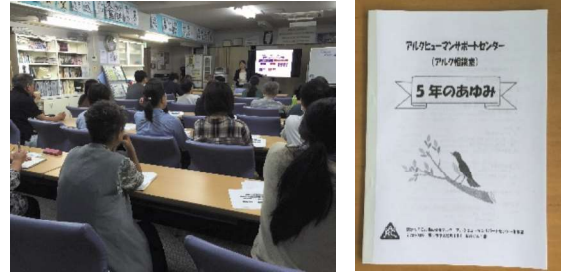
2015年度から3年間の補助金を受け、人材面、財政面での強化に取り組みました。専従職員を配置し、広報活動としてチラシのリニューアル、配置先の拡充を行いました。また、相談員間、および相談室とアルクの施設の連携もスムーズに行えるようになりました。



▲アルク・ヒューマンサポートセンター相談室入口(左)/  
さまざまな電話相談があります(右)

相談件数は、電話、面接とも増え、2015年度は、2014年度の356人から2倍以上の745人となり、その後も増える傾向にあります。依存症

のみならず、その他の精神疾患、家族問題や生活問題など、重層的・複合的な多問題や、長期継続的な相談にも対応してきました。



▲依存症セミナー「インターネット依存」での様子(左)/  
開設6年目に作成した『5年のあゆみ』(右)

アルクの施設職員との連携は、回復者の体験の力を活かし支援することができ、アルク施設だけではなく、他の回復施設や自助グループにつなげる支援もできました。

「依存症セミナー」では毎回30名以上の参加があり、依存症とその周辺の問題について、当事者、家族、支援者その他さまざまな方たちと、ともに学び分かち合うことができました。



コーディネーター  
橋本 黎子さん

相談室を開設してから多くの方々と、「語り」と「語りを聴く」関係で、人々が蘇生し今より質の良い生活ができるようにと願ってきました。これからも相談室が、言葉に出せなかった思いを語れる場として提供できればと願っています。

認定  
NPO

特定非営利活動法人  
市民の会寿アルク

代表者 理事長 村田 由夫

設立 平成5年11月

住所 〒231-0025 横浜市中区松影町  
3-11-2 三和物産松影町ビル

活動紹介 アルコール・ギャンブル・薬物等の依存症からの回復の手助けをするNPO法人です。施設では、回復に合わせてプログラムを組み依存症からの回復者本人が手助けに当たり、相談室では「対話」を大切にしていって、個々の力を取り戻すお手伝いをしています。



06

ボランティア活動補助金

## 高齢者向けの「患者力」啓発 小冊子作成と啓発推進活動

N P O 法人 Spes Nova

### Profile

事業分野：保健、医療又は福祉の増進  
事業期間：2017年度  
補助金額：400千円  
(1年間)

### 活動

#### シニアのための 「患者力」の提唱

もし病気になった時、自分のための治療がより良く受けられることは、何より重要なことです。そのために、誰もがすぐに役立つ心構え「患者力」を身に付けることの必要性を伝え、啓発活動を行いました。迫りくる高齢化社会において、シニアに向けてのアピールは喫緊の課題です。そこで、シニアに特化した小冊子『シニアのための「患者力」』を作成しました。その内容は、第一に分かり易いこと。大きな文字で、必要な事柄を具体的に端的に記載し、読みやすい本文

を目指しました。

また、冊子の作成と同時に、「患者力」の必要性と啓発を掲げ、普及活動を実施しました。神奈川県下の大学附属病院をはじめとして、公立私立病院・公的機関・地域がん支援センター・地域自治会等々において、勉強会・セミナーに参加し、パワーポイントによる「患者力」勉強会を開催しました。アンケートの協力を得て、この活動についての感想や評価を頂きました。

## 成果

### 「患者力」の認知度が 高まった

「患者力」の啓発、普及の活動を認められ、新聞社2社より取材を受け活動が新聞に掲載されました。また、多くの方々が冊子を読み、あるいはセミナーに参加され、関心を示されました。

アンケートからは、ほぼ100%に匹敵する方々に「よかった」と評価を受けました。がん患者の方はもとより、そのご家族、友人知人一般の方々から、様々な反響を得られ、患者力に対する認知度が高まったと考えられます。



▲日本医科大学武蔵小杉病院での勉強会(左)/平和病院勉強会チラシ(右)



理事長  
塩尻 瑠美 さん

「患者力」についてその必要性を、小冊子を通じて、より多くの方々にわかりやすく、より身近に、より広く普及活動ができたと考えています。

### ▼完成した小冊子



「ありがとうございました。とても勉強になりました」「初めて患者力という言葉を知った。もっと早く知りたかった」「早速今から実践したい」「家族にがん患者がいる。どう接していいかわからなかったが、冊子を読んで気づくことがあった。少しでも気持ちに添える気がした」「悩みを持っているのは、自分だけではないことがわかった」「患者力を知って、心強く安心した」「不安ばかりだったが、気持ちが落ち着いた」「自分は、伝え方が下手。少しでも工夫し先生とのコミュニケーションをとれるようにやってみようと思う」等々

### アンケートの感想(抜粋)

- ▶ 「ありがとうございました。とても勉強になりました」「初めて患者力という言葉を知った。もっと早く知りたかった」「早速今から実践したい」「家族にがん患者がいる。どう接していいかわからなかったが、冊子を読んで気づくことがあった。少しでも気持ちに添える気がした」「悩みを持っているのは、自分だけではないことがわかった」「患者力を知って、心強く安心した」「不安ばかりだったが、気持ちが落ち着いた」「自分は、伝え方が下手。少しでも工夫し先生とのコミュニケーションをとれるようにやってみようと思う」等々

NPO  
法人

NPO法人  
Spes Nova

代表者 理事長 塩尻 瑠美

設立 平成24年4月

住所 〒235-0036 横浜市南区六ッ川 3-40-1

活動紹介 がんサポートコミュニティとして、「患者力」の普及、啓発活動を行っています。その一環として、市民公開講座を開催、がん哲学外来を実施し、普及に努めています。